

保育事業部門

<p>外部環境の変化</p>	<p>保育部門においては、横浜市と県域とで違いがある。 目まぐるしく制度が変わっていくことに対応していくことが難しく、国の考え方と保育の現場の現状とがかみ合っていない。一方待機児童の増加はしばらく続く傾向が見られるが、地域全体に共通されるものではない。 保育士不足は大きな課題であり、処遇改善等の制度が導入され、保育士のモチベーションアップにつながっているが、業務内容に見合う職員配置が出来ないと、慢性的な人材不足は免れない。</p> <p>配慮が必要とされる利用者の増加に伴い、多種にわたる対応ができる保育者が求められる。</p> <p>保育施設の増加により、保育士不足や定員割れなどの弊害が地域によってはでている。</p>
<p>ビジョン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての児童と保護者のニーズに応じて、健全に成長していけるよう援助していく。（一時保育の充実 ・ サービスの充実） ・ 現状の人材・施設を活用して、地域の子育て支援事業を充実、拡大していくと共に、地域との連携を深めていく。 ・ 職員の向上しようとする意欲を見出し、外部研修に加え法人内の研修制度の確立に力を入れ人材育成を行い組織の質を向上させる。 ・ 保育士以外の専門分野に適応できる人材（心理カウンセラー）が必要である。 ・ 法人全体で情報を交換しあい、社会状況を把握しながら、地域における公益的な取り組みの推進と、活動内容の情報を発信していく。
<p>ご利用者・地域の 方々の視点</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の子育て支援のニーズに基づき、一時預かり保育事業の充実、拡大がされる（母子分離ができるサービスの提供） ・ 育児相談が明文化され、発信される </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣、町内会、学校との連携ができ、保育のサービスが受けられる ・ 地域の方が相談の窓口として利用ができ、関係機関へも繋がる ・ 災害時の協力・連携ができる </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者はより良いサービスが受けられる </div> </div>
<p>財務の視点</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的なメリット・デメリットを確認し職員の配置や育成を計画し、中長期的な財政、財務規律を見直す </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育部門として、望ましい給与表の構築を目指す </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務効率化に伴う、設備投資をする ・ 環境整備に必要な財源を確保する </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、利用者サービスにおける収支の見直しをもつ </div> </div>
<p>業務プロセスの視点</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開所時間内の保育士配置の状況の確認をする ・ 多様なニーズに対応できるスキルの構築をする ・ 社会の動向を把握し、柔軟に対応できる組織を目指す </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門的な職員研修の充実を図る </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 法人改革を理解し、職員の意識の統一を計る </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域や関係機関と連携する職員の位置付けを明確にする </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育業務の効率化を図る </div>
<p>学習と成長の視点</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の細分化を図る </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ アセスメント力・モニタリング力を組織的に向上をさせる </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な環境や地域に応じた相談支援能力の向上を図る </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンスキルの向上を目指す </div>